

## UNITEX ArchiveLT for Windows Ver.1.8.0 リリースノート

### 【概要】

#### (主な変更点)

- ・TAR 形式の LTO メディアに対応しました。<sup>※</sup>
- ・アーカイブ先のフィルタ機能を追加しました。
- ・メディアタグ/フリーワードの検索時のワード候補選択に対応しました。
- ・ファイル名/フォルダ名検索機能を強化しました。

※TAR アーカイブオプションライセンスが必要です。

#### (不具合修正)

- ・軽微な問題を修正しました。

#### (関連情報)

- ・製品 URL

<https://www.unitex.co.jp/products/software/ltfs/archivelt/>

### 【対応 OS】

- Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 / 11
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2012 / 2012 R2
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019

### 【対応装置】

- UNITEX LT90H / LT80H2 / LT70H2 (USB/USB-RM)<sup>※1</sup>
- UNITEX LT80H / LT70H / LT60H / LT50H (USB/USB-RM)<sup>※1</sup>
- UNITEX LT90 / LT80 / LT70 / LT60 / LT50 (USB/SAS/USB-RM/SAS-RM)<sup>※1</sup>
- UNITEX Dual LTO Series
- UNITEX LTSシリーズ (LTOライブラリ装置)<sup>※2</sup>
- フラッシュメモリ / ディスクストレージ
- SONY オプティカルディスク・アーカイブ<sup>※3</sup>

※1.LTO-8、LTO-9ドライブは、Windows 8.1/10/11、Windows Server 2012 R2/2016/2019のみサポートとなります。

※2.ライブラリ連携オプションライセンスが必要です。

※3. SONY オプティカルディスク・アーカイブは、Windows 8.1/10、Windows Server 2012 R2/2016/2019のみサポートとなります。

またオプティカルディスク・アーカイブ連携オプションライセンスが必要です。

## 【旧バージョン変更履歴】

### 【Ver.1.7.0】 2022/07/08

#### (主な変更点)

- ・LTO-9 ドライブに対応しました。
- ・UNITEX LT80H2 / LT70H2 モデルに対応しました。
- ・Windows 11 に対応しました。

#### (不具合修正)

- ・軽微な問題を修正しました。

### 【Ver.1.6.0】 2021/10/08

#### (主な変更点)

- ・[Standard エディション]複数のメディアをまとめてひとつのメディアとして扱う「メディアグループ」機能に対応しました。
- ・[Standard エディション]フォルダ監視アーカイブに「差分アーカイブ」機能を追加しました。
- ・[Standard エディション]フォルダ監視アーカイブに「1 ジョブのデータ上限設定」を追加しました。
- ・Windows Server 2019 に対応しました。

#### (不具合修正)

- ・アーカイブジョブの実行によりメモリリークが発生する可能性のある問題を修正しました。
- ・その他、軽微な問題を修正しました。

### 【Ver.1.5.0】 2021/07/30

#### (主な変更点)

- ・LTO、ODA メディアのフォーマットをジョブとして実行する機能に対応しました。
- ・LTO ライブラリの自動クリーニング機能に対応しました。

#### (不具合修正)

- ・軽微な問題を修正しました。

### 【Ver.1.4.1】 2021/04/23

#### (主な変更点)

- ・ありません。

#### (不具合修正)

- ・LTO ライブラリ装置にて、アーカイブ/リトリブジョブ後に、テープがホームスロットに戻らない可能性のある問題を修正しました。

### 【Ver.1.4.0】 2021/03/10

#### (主な変更点)

- ・UNITEX LTS シリーズ(LTO ライブラリ装置)に対応しました。
- ・アーカイブ先フォルダの名称を指定できる機能を追加しました。
- ・アーカイブ時にハッシュリストファイル読み込みによるハッシュ値の比較機能を追加しました。
- ・メディアスキャン機能について、サブフォルダ毎に1つのアーカイブセットとして登録する動作に変更しました。
- ・メディア複製機能の複製先を2つ指定できる機能を追加しました。

#### (不具合修正)

- ・ありません。

## 【Ver.1.3.0】 2020/07/20

### (主な変更点)

- ・260 文字を超える長いファイルパスデータのアーカイブに対応しました。
- ・複数ジョブの並列実行に対応しました。
- ・メディア容量のグラフ表示に対応しました。

### (不具合修正)

- ・コピー処理中に稀に処理が停止してしまう問題を修正しました。
- ・Mac の共有フォルダからのアーカイブ/リトリブが失敗してしまう問題を修正しました。
- ・その他、軽微な問題を修正しました。

## 【Ver.1.2.0】 2018/04/25

### (主な変更点)

- ・「Standard エディション」を追加しました。
  - －フォルダ監視アーカイブ機能
  - －ジョブのスケジュール実行機能
  - －ジョブのコマンド実行機能
- ・Windows Server 2016 に対応しました。
- ・LTO-8 ドライブに対応しました。
- ・UNITEX LTxxH USB(USB 高速 LTO ドライブ装置)に対応しました。
- ・ネットワーク共有ストレージからのアーカイブに対応しました。
- ・アーカイブジョブの実行ユーザー指定機能を追加しました。
- ・ジョブ結果のパフォーマンスグラフ表示機能を追加しました。
- ・書き込みエラー時の自動リカバリ機能を追加しました。
- ・SONY オプティカルディスク・アーカイブ装置に対応しました。

### (不具合修正)

- ・履歴情報のエクスポート時に画面が異常終了する可能性のある問題を修正しました。
- ・その他、軽微な問題を修正しました。

## 【Ver.1.1.0】 2017/11/17

### (主な変更点)

- ・アーカイブデータに付加可能なフリーワード数の上限を 5 個から 15 個に拡張しました。
- ・メディア情報、アーカイブセット情報の詳細検索機能を追加しました。
- ・メディア情報、アーカイブセット情報のメディア同期機能を追加しました。

### (不具合修正)

- ・軽微な問題を修正しました。

## 【Ver.1.0.0】 2017/08/07

### (主な変更点)

- ・初版